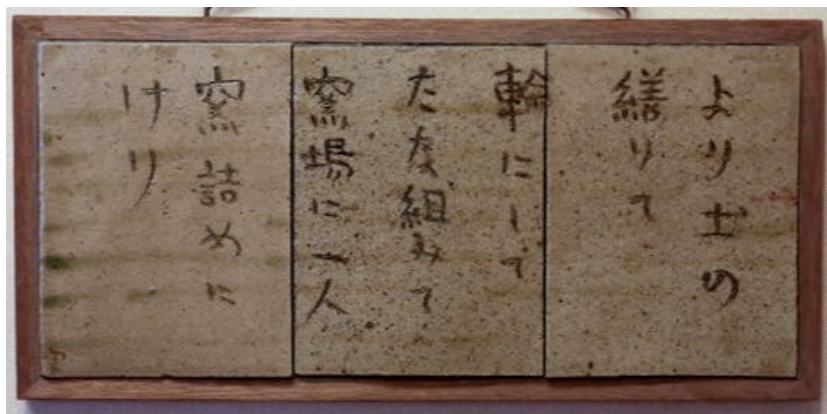


常設展「吉田実」

プロフィールは[こちら](#)。

吉田実作品の展示替えをしました
 父は生涯弟子を取らず
 売るつもりも売れることもなく
 一人で作陶を続けました
 そのような日々の歌陶板を飾ります。







陶歴

吉田実は帝国美術学校で作陶を学び
無名のまま50年間一人で作陶を続けました。
その作品の一部を展示します。



明治44年5月22日生
 昭和4年9月 帝国美術学校予科工芸図案科
 入学。作陶を専攻。藤井達吉
 に師事。
 昭和9年8月 藤井達吉の指導で瀬戸で泉堂
 瀬戸作陶会に参加。
 昭和14年 常美の近く深大寺に築室居住。
 新協美術協会会員。
 昭和17年 馬場信子と結婚。
 昭和41年 日府従工芸部理事。
 昭和44年 日本山林美術協会委員。
 昭和53年 亜細亜美術協会工芸部委員。
 昭和58年 持病の増悪に感懐症を併発し、
 入院を繰り返す。
 昭和63年8月24日没

過去の吉田実展の記録。

[2011年3月 吉田実展](#)

[2009年2月 吉田実展](#)

[2007年6月 吉田実展](#)